

今日のトピック

インド中銀、政策金利を据え置き

ポイント1 政策金利を7.50%に据え置き

市場予想通りの決定

- インド準備銀行(RBI)は7日、政策金利(レポ金利)を7.50%に据え置くことを決定しました。据え置きは大方の市場予想通りです。
- 声明文によると、RBIは、今後も緩やかな政策を続ける方針です。今回は、3月の緊急利下げ後、物価動向などを判断する材料に乏しかったことから、政策金利の据え置きに至ったと見られます。

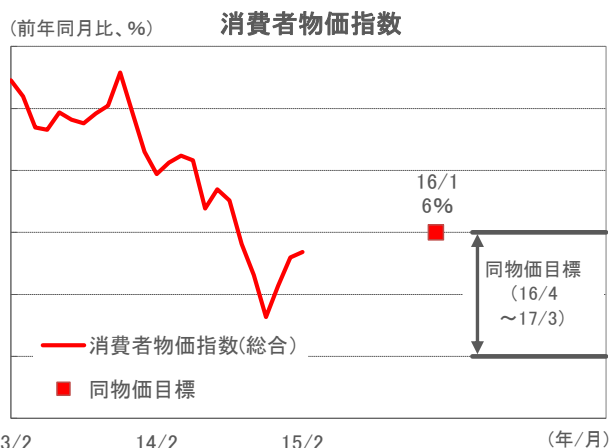
ポイント2 物価上昇率は安定へ

景気は緩やかに加速

- RBIは、2016年1月の物価上昇率を目標の前年同月比+6.0%を下回る同+5.8%と予想しています。また、天候要因による食品価格の上昇や原油価格の再上昇が物価上昇のリスクとする見方を維持しています。
- 景気に関しては、RBIは、これまでの利下げ効果や政府によるインフラ整備に向けた投資の拡大により、2014年度(2014年4月~2015年3月)の経済成長率を+7.5%、2015年度を+7.8%と予想しています。
- 発表直後のインドルピーは、対円、対米ドルで小幅に下落したものの、影響は限定的にとどまりました。



(注) データは2013年4月1日~2015年4月7日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは2013年2月~2015年2月。
物価目標はインド準備銀行(RBI)による。
(出所) Bloomberg L.P.、RBIのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 年内に追加利下げが見込まれ、景気を後押し

- 昨年物価上昇率が大幅に低下したことから、RBIは、物価の状況などを確認しながら年内に追加利下げを実施するとの見方が市場では優勢です。緩やかな金融環境は景気を後押しする要因です。
- ルピーは、日銀が追加金融緩和を実施した昨年

10月後半以降対円で上昇基調にあります。今後数回の利下げが見込まれるものの、金利差は比較的大きい状況が続きます。また、経常収支の赤字が縮小傾向にあることや日銀の金融緩和を背景に、ルピーは引き続き対円で底堅く推移する見込みです。

ここもチェック! 2015年03月17日 最近の指標から見るインド経済(2015年3月)
2015年03月04日 インド準備銀行が今年2度目の緊急利下げ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。